

学校法人東京医科大学  
医学部学生の生成系 AI 利用指針

第 1.0 版

2023 年 11 月

学校法人東京医科大学

## 目次

1. はじめに.....	1
1.1 本ガイドラインの目的.....	1
1.2 本ガイドラインの対象者.....	1
1.3 本ガイドラインの対象範囲.....	1
1.4 用語の定義.....	1
2. 医学部医学科学生のための生成系 AI 利用指針.....	2
3. 医学部看護学科学生のための生成系 AI 利用指針.....	2
4. 大学院学生のための生成系 AI 利用指針.....	3

# 1. はじめに

## 1.1 本ガイドラインの目的

生成系 AI の利用に関する指針を示します。生成系 AI は今後急速に普及しますので、その正しい使い方は医師・看護師・研究者の生涯学習にとって必須のスキルとなります。一方で、誤った使い方は、学生時代に修得しなければならない「情報収集・整理力」、「論理的に思考を展開する力」、「自らの言葉で分かりやすく表現する力」の修得を阻害することにもなります。言語生成系 AI は大量の既存の文章やコンテンツの機械学習と強化学習を通じ、確率的にもっともらしい文章を作成するシステムです。そのため、書かれている内容に誤りが含まれている可能性があります。また、既存の情報にない新しい知見に関する分析や記述はできません。ですから、回答を批判的に検証することが必要となるので、そのための教養や専門知識を学生自身が有する必要があります。学生時代にどのような能力を修得する必要があるのかを常に考えながら、生成系 AI に向き合い、情報リテラシーの能力を養うことを期待します。

なお、生成系 AI の進歩、及びそれを取り巻く環境は日々変わるため、状況に応じてこのガイドラインを改版します。

## 1.2 本ガイドラインの対象者

本ガイドラインは、本学のすべての学生（研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生を含む）を対象者とします。

## 1.3 本ガイドラインの対象範囲

本ガイドラインは、「1.2 本ガイドラインの対象者」に記載された対象者が、本学での教育課程及び学生生活において利用する生成系 AI システムを対象とします。研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生はそれぞれが受講する学科の指針に従ってください。

## 1.4 用語の定義

本ガイドラインで使用する用語の定義は以下のとおりとします。

- ・生成系 AI

インターネット上などに存在する既存の文章や画像イメージを大量に機械学習し、これに強化学習を組み合わせるなどして、一定レベルの品質の文章や画像を生成するシステム。

## 2. 医学部医学科学生のための生成系 AI 利用指針

- 学習内容の概略把握、予習などの自己学習、課題の情報の収集のためのツールとしては利用を認めます。ただし、生成された結果（文章、統計処理、画像、プログラム）の妥当性を必ず検証してください。
- 人文科学系（人間学系）の課題は、テーマに沿って自らの言葉で考え思索を深めてゆく、そのプロセス自体を学修の目的としています。したがって、生成系 AI の利用は禁止します。つまり、AI の生成した文章をそのまま写す、あるいは、生成した文書をもとに一変する行為は禁止します。
- 人文科学系以外（自然科学系一般教育、基礎医学系、社会医学系、臨床医学系）の課題では、情報を収集し、それらを整理した上で論考を加えることが求められます。情報の収集に生成系 AI、検索エンジンを利用した場合は、生成系 AI から引用した範囲、検索エンジンから引用した範囲を分かるようにして、参照・引用先をレポートに明記してください。生成系 AI から引用した場合は種類とバージョンを明記してください。ただし、生成系 AI のみを参照・引用先とすることは禁止します。
- 個人情報や機密情報、また著作権を侵害する内容などの取り扱いには十分に注意し、生成系 AI に入力しないでください。別の質問の回答に利用される可能性があります。
- その他、担当教員の指示に従うようにしてください。今後、サービスの向上や学生のリテラシーなどの観点から適切な利用が難しいと判断された場合、課題での利用を全面禁止することも考慮されます。

## 3. 医学部看護学科学生のための生成系 AI 利用指針

- 学習内容の概略把握、予習などの自己学習、課題の情報の収集のためのツールとしては利用を認めます。ただし、生成された結果（文章、統計処理、画像、プログラム）の妥当性を必ず検証してください。
- 各科目での課題やグループワークでは、テーマに沿って自らの言葉で考え思索を深めてゆくもの、また、情報を収集し、それらを整理した上で論考を加えることが求められるものなど学修目標によって違いがあります。したがって、各科目が求める目標によって、課題やグループワークでの生成系 AI の利用については、許可される場合と禁止される場合があります。生成系 AI の利用については、課題やグループワークの際には、各科目の担当教員に確認してください。
- 科目によって、生成系 AI の利用を許可された場合でも、AI の生成した文章をそのまま写す、あるいは、生成した文書をもとに一変する行為は禁止します。
- また、情報の収集に生成系 AI、検索エンジンを利用した場合は、生成系 AI から引用した範囲、検索エンジンから引用した範囲を分かるようにして、参照・引用先を明記して

ください。生成系 AI から引用した場合は種類とバージョンを明記してください。ただし、生成系 AI のみを参照・引用先とすることは禁止します。

- 個人情報や機密情報、また著作権を侵害する内容などの取り扱いには十分に注意し、生成系 AI に入力しないでください。別の質問の回答に利用される可能性があります。
- 今後、サービスの向上や学生のリテラシーなどの観点から適切な利用が難しいと判断された場合、課題での利用を全面禁止することも考慮されます。

#### 4. 大学院学生のための生成系 AI 利用指針

- 研究内容・研究方法の概略把握と情報収集、あるいは英文校正のためのツールとしては利用を認めます。ただし、生成された結果（文章、統計処理、画像、プログラム）の妥当性を、他の文献に当たって必ず検証してください。さらに、研究者として必須の能力である「情報の検索とそれを検証する力」を獲得していく過程の中で、生成系 AI の適切な利用を学んでください。
- 論文における生成系 AI の利用は、投稿する雑誌、学会の指針に従ってください。
- 研究結果、個人情報や機密情報、また著作権を侵害する内容などを生成系 AI に入力しないでください。別の質問の回答に利用される可能性がありますので取り扱いには十分に注意してください